
臨海学校

絵利香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

臨海学校

【著者名】

ZZード

ZZ946Z

【作者名】

絵利香

【あらすじ】

2年生の臨海学校にて、海外組の彼らが来ちゃった？

しかも他の奴らも？無事に終わるの…？

「さて、今日から楽しい臨海学校です。拓人は私の前に来なさい」

倉間「先生、職権乱用です」

「知りません」

今日から2年生は、私：エリカ・バルチナスが前の名字である影山・及び亞風炉だった頃に所有している海岸。 そこのホテルに3泊4日で宿泊することに。

鬼道「俺は神童の席に移れということか？」

「それでもいいよ。嫌なら拓人は私の膝だもの」

鬼道「移ろう」

素早く移動する鬼道。入れ替わるように拓人が。

男子1「それ、ダメじゃないんですか？」

鬼道「親子だからな。仕方ない」

酔いやすい拓人は、傍にいてくれた方が安心できる。

神童「き…気持ち悪い…です…お母様…」

「あらあら、早速…はい、袋」

マエストロ、あなた何で出ているの。そして、何で手を抜け皿にしているの。

任せたわとは言つたけど、これは任せられないわ…。

バスは出発して、高速に乗つた所。

少し揺れ過ぎね、このバス。

「ごめんなさいね、私がこんなに揺れるバスをチャーターしてしまつたから…」

苦しいでしょ? とこうと、青い顔をして首を横に振つた。

神童「お、俺が酔いやすい体质だからです…すみませんお母様…」

浜野「だいじょーぶか神童」

「…まだ海ではありませんよ」

浜野くんが海パン姿で顔をひょっこり出してきた。
向坂くんも、気分転換にとゲームに誘つてくれた。

「大丈夫? 酔い止め飲んだ?」

神童「はい…」

向坂くんの誘いを受け、霧野くんたちの場所へ一度は戻つたもの、

霧野「ねええ」「おおーーー」

神童「り…りばーす…」

「…鬼道、連れ戻してきてくれる?」

結局、さつきの形に。

「眠っていた方がいいわ。横になりなさい」

神童「はい…お母様…」

「テントと膝枕。スヤスヤと眠る拓人は、少しは苦しくなくなつたみたい。

もうすぐ田的だけど、部屋で寝かせておいてあげましょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7946z/>

臨海学校

2011年12月25日16時54分発行